

# 会議結果報告書

令和2年6月5日

会議の名称	令和2年度第1回志木市男女共同参画審議会
開催日	令和2年5月22日（金）～6月5日（金）
開催場所	書面開催（新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため）
出席委員	工藤晴香委員、福永信彦委員、山口敬二委員、隅田由香利委員、北澤恭子委員、山口博文委員、小柴孝子委員、中西喜代子委員、斉藤篤志委員、磯山道則委員 <p style="text-align: right;">（計 10人）</p>
欠席委員	<p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
説明員職氏名	志木市人権推進室 藤崎主任 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議題	1 協議事項 （1）第6次志木市男女共同参画基本計画の諮問について （2）第6次志木市男女共同参画基本計画の方向性（案）について （3）第6次志木市男女共同参画基本計画の体系（案）について 2 報告事項 令和元年度志木市男女共同参画に関する市民意識調査の結果報告について
結果	・各委員への資料発送日 令和2年5月22日（金） ・各委員からの意見等の提出締切日 令和2年6月5日（金） ・各委員からのご意見 29件 <p style="text-align: right;">（傍聴者 0人）</p>
事務局職員	志木市人権推進室 醍醐室長、藤崎主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 協議事項

(1) 第6次志木市男女共同参画基本計画の諮問について

(委員)

昨年10月31日の審議会での策定スケジュールから大幅に遅れている。本年12月の答申にいたる策定スケジュールの最新版を改めて全委員に提供してほしい。

(事務局)

後日、配付する。

(2) 第6次志木市男女共同参画基本計画の方向性（案）について

(委員)

方向性（案）について、中身はサブタイトルの「全体構成のイメージ」なので、策定スケジュール上の骨子（案）との関係を説明していただきたい。

(事務局)

方向性（案）と体系（案）が、骨子（案）の内容を示すものである。

(委員)

計画策定の趣旨に目的が必要である。

(事務局)

素案に目的を明記する。

(委員)

計画の性格に国や県の計画との関係や、市の条例、市民意識調査や第5次基本計画の検証との関係なども明示されている方がよい。

(事務局)

素案に関係を明示する。

(委員)

計画の推進体制に脱字や必要な語句のもれがある。

(事務局)

修正する。

(委員)

計画の背景に市も必要である。

(事務局)

素案に記載する。

(委員)

和暦（元号）だけでなく、適宜、西暦も付記されているとわかりやすい。

(事務局)

必要に応じて付記する。

(委員)

第1章5計画の推進体制について、「苦情の申し立ての処理」とあるが、具体的に過去にどのような苦情があり、審議会で処理した事例があったのか。

(事務局)

処理した事例はない。

(委員)

第1章5計画の推進体制の2行目に「～計画を新たに策定するの検討～」とあるため、修正が必要である。

(事務局)

修正する。

(3) 第6次志木市男女共同参画基本計画の体系（案）について

(委員)

基本目標は目標なので、めざすべき姿・状態がイメージできるとよい（現行は、～まち）。また、一つの基本目標に「〇〇と△△」のように2つあることや、1つの基本目標だけに「実践」があることや、健康増進計画の基本目標のような「心身の健康の確保」には違和感がある。

(事務局)

基本目標は「～まち」に修正する。

(委員)

体系の「男性の家庭参画の促進」や「政策・方針等の決定における女性の参画推進」などは、たしかに課題（もしくは、施策の方向性）候補だと思う。上位計画や関連計画、5次基本計画の検証結果、市民意識調査結果などに基づいて、基本目標～課題～施策の方向性～指標といった体系の見直し（一部）を図った方がよいと思う。基本目標単位で女性活躍推進計画とするのは必須なのか。

(事務局)

体系を一部、修正する。素案では、課題単位で女性活躍推進計画としている。

(委員)

基本目標Ⅰ課題1について、現行計画にあった「国際的な視野に立った」という文言がなぜ削除されたのか。ジェンダーギャップ指数（2020）において、日本が153か国中、121位という結果を踏まえ、「教育の充実」の中に国際的な視野を入れるべきである。

(事務局)

目標Ⅰ課題1④に位置付ける。

(委員)

基本目標Ⅰ課題1について、「性的嫌がらせ」ではなく、厚生労働省も用いている「セクシュアル・ハラスメント」とする方が良い。

(事務局)

「セクシュアル・ハラスメント」に修正する。

(委員)

基本目標Ⅱ課題2②について、「女性参画」ではなく、「女性リーダーの育成と参画」とした方が、分かりやすいと思う。すでに参画している方は男性の補助的役割と聞いたので、女性リーダーの育成が大事ではないか。

(事務局)

現在の状況では、女性リーダーの育成の前に、まずは女性の参画が課題のため「女性参画」とする。

(委員)

基本目標Ⅲ課題2について、現行の基本目標Ⅳ課題2からではなく、課題1からの移動ではないのか。

(事務局)

修正する。

(委員)

現行計画基本目標Ⅲ課題2③の「高齢者・障害者等の取組」を削除した理由を知りたい。

(事務局)

現在、市で行っている事業は「道路の整備事業」「県の街路事業の促進」であり、男女共同参画の内容ではないため。

(委員)

意識調査の結果から男性の意識や行動を促進する。また、女性活躍推進計画の充実として「政策・方針等の決定における女性の参画推進」から「女性」「男性」に分け、新たな設定・計画に期待している。

## 2 報告事項

令和元年度志木市男女共同参画に関する市民意識調査の結果報告について

(委員)

予定が大幅に遅れた原因を知りたい。

(事務局)

予定の変更は新型コロナウイルス感染症の影響によるものである。

(委員)

回収状況について、前回調査より回収率が下がったこと、特に男性の回収数が減少したことをどのように評価しているか。

(事務局)

回収率は下がったが、前年度と比較ができないとは考えていない。今後は、回収率を上げるためのアンケートの実施方法等（インセンティブ、WEBアンケートの導入等）について検討する。

(委員)

他の基本属性とのクロス集計、項目間のクロス集計ができるよう、データをエクセルで納品しているか。

(事務局)

納品されている。

(委員)

調査結果のポイントについて、第5次基本計画の設定指標の調査項目は、必ず前回調査結果の記載や目標と実績に対する評価があった方がよいと思う。男女平等感の問8、問9については重要項目なので、詳細な解析が必要かと思う。「就業の問18」の結果と、「問8の職場の中では」の結果とに違和感がある。

(事務局)

前回調査結果の記載や目標と実績に対する評価については、素案に記載する。問18は「個々の状態」、問8は「社会全体で平等と思うか」を聞く問である。例えば、自身は職場で不平等をあまり受けていなくても、社会全体として職場の中に男女の不平等があるという認識を反映している。

(委員)

自由記述から、市民の皆さんはより具体的な分かりやすい施策を望んでいるのだと思う。「社会の仕組みが女性に不利」なので、管理職などの意思決定に加わる立場になりたくない、それよりもパートナーの協力や福祉の充実が先に必要との考えがあるのではないか。

(事務局)

調査の結果を今後の取組の参考にする。

(委員)

志木市配偶者暴力相談支援センターを知らない人が多いとのことだが、被害者意識を感じないような名称に変更したほうがよい。

(事務局)

名称の変更は担当課で協議する。

(委員)

平成26年と令和元年の調査の比較表は増減による意識の傾向が分かりやすかった。

(事務局)

素案にも比較できる形で掲載する。

(委員)

回答者の年齢は70歳以上の割合が高く、メリット・デメリットが調査の項目によってあったのではないか。

(事務局)

前回調査時も高齢者の回答割合が高かったことから、本調査結果に大きく影響を及ぼすものではないと考えている。

(委員)

自由記述の中に「アンケートが女性向けのものに見える、男女平等になるようなものが男女共同参画推進ではないのか」とある。改定計画の中に「男性の家庭参画の促進」又「女性の参画推進」が計画体系に組み込まれていることが意見に対する意思表示に繋がっていると思う。

(事務局)

男性、女性ともにあらゆる分野に参画し、活躍できるよう取組を進める。

(委員)

今後、具体的な取組として何を行っていくのか楽しみであり、調査結果の中にヒントがあるように思う。

(事務局)

調査の結果を今後の取組の参考にする。